



お盆号

発行所 普門山 林泉寺
三戸町斗内字 寺牛25
〇一七九
二五二八五〇
啓誠

曹洞宗の行事

晋山式 晋山式ってなあに

三年後に修行する「晋山式」について少しづつ説明をしていきたいと思います。最初にこの儀式の意味を確認しておきます。まず「晋山」の意味ですが、これはお寺に住職が新しく入ることです。「晋」は「すすむ」と同じ意味です。「山」は、お寺の

ある場所、つまり寺院をさします。かつて中国に禅宗のお寺が最初に建てられたころ、山の中にあつたので、それぞれその山の名前を取って「山号」というのを付けたのに始まりません。その伝統を踏まえて、現在では、山の中にないお寺であっても「〇〇山△△寺」と名乗っているのです。



この儀式は、二つの儀式から成り立っています。先に述べた新しい住職が寺院に入る儀式「晋山」と、新たに寺院に入

た住職がそれを記念して多くの方々に法を説く儀式「晋山開堂」とがあります。



それに加え、私の息子が長老になる儀式、修行の成果を試し、弟子としてふさわしいかを見極める儀式「法戦式」も考えております。これらを含めて「晋山結制」と呼ぶ場合もあります。古くは、前の住職が亡くなったり、他のお寺に移ったりして、住職がいなくなると、新たに他のお寺などから呼ばれてやってきました。

そのお寺で修行していたお坊さんが住職になる場合もあります。時によつては電車や車の無い時代に長い旅をしてお寺にやってくる場合もあつたのです。そのため、お寺に入る前に一度、「安下処」と呼ばれる宿に泊まり、旅の疲れをとり、身支度を整えたのです。その上で、お寺に向かつて進んでいったのです。ですから現在でも晋山式は、この「安下処」を出発するところから始まります。「安下処」はだいたい、檀家の総代長さんのお宅を使用する場合があります。二枚の写真は、平成五年九月一八日に修行した前任職の「晋山式」の様子です。上の写真は、「安下処」から行列を組んで、まさに山に進む「晋山」の様子、下の写真は須彌壇に上り法を説く「晋山開堂」の様子です。懐かしい方もおられるでしょう。私にとつてこの上

施食会のご案内

八月十四日(土曜日)

午前十一時より

当寺本堂に於いてお勤めします。

供養料 一千元

同封の申し込み用紙にお名前を記入し

供養料を添えて

当日本堂受付まで

お持ちください。

※尚、当日お出でになれない方は

前もつて、随時受付いたしますので

どうぞお申し込みください。

お墓参りの心得

- 一、お寺のご本尊にお参りをする
 - 二、お掃除をする(ゴミ拾い、草取り、墓石を洗う)
 - 三、花を飾り、灯明、線香をあげる
 - 四、故人の好物などを供える
 - 五、墓前に合掌する時は、数珠を奉に
 - 六、帰る時は供え物を下げる
 - 七、正月、春彼岸、お盆、秋彼岸には欠かさずお参りをする
 - 八、祥月命日はお参りをする
 - 九、善いことがあつたら報告をする
 - 十、近くまで来たらお参りをする
- そう言つてもなかなか・・・と思ひのあなた、ご先祖様が見えていますよ。



ない儀式であり、檀家の皆さんにとつても大変有りがたい儀式ですので、何卒円満成就出来ませうお願い致します。



平成二十一年
六月二十六日より
平成二十二年
六月二十五日まで
逝去された方です。
〈お盆(八月十三日)までに四十九日を終えられた霊位です〉



「典座教訓」に学ぶ(3)



「五観の偈」 食事のお経

これから、シリーズで、お経・偈文などの意味を少しずつ解説していききたいと思います。

まず最初に、我が曹洞宗の開祖道元禪師が説かれた「典座教訓」という、食事を作る人の心得が書かれたものと、「起

「五観の偈」

- 一つには功の多少を計り、かの来処を量る
- 二つはおのれが徳行の全欠を付て供に応ず
- 三つは心を防ぎ過を離るる。とは貧等を宗とす
- 四つはまさに良薬を事とするは形枯を療ぜんがためなり
- 五つは成道のための故に今この食を受く



でしよう。それでは第三番目です。

三つには、食事をすするのは、迷いの心をなくし、過ちを犯さないように修行するためであることを考へる。その場合、食の心といかり憎む心、道理のわからな

上の修行であるという事です。

私が小さいころは裕福な家庭が少なく、その割には兄弟の多い家が沢山見受けられました。▼ご多分に漏れず我が家も貧しい生活でした。▼小学校の頃には、遠足の時のおにぎりやおかず、それにも増して運動会のあの重箱に入った、たくさ

うまいまじいけど、かれこれ云わずに食べられることへの感謝が必要ではないでしょうか。▼美

食の大吃いに挑戦したり、人気メニューの順位を当てるまで帰れないといったテレビ番組まで出るありさまで。つい最近のテレビで、「駅弁大会」と題して販売個数を競う番組をやっていました。その中で、六百食用意した内で二百食しか売れず、残りを廃棄処分していました。大記録の裏には犠牲がつきものといえますが・・・ どう思いますか？二百食の実績は何なんでしょう。か。もったいない！考えさせられました。▼賞味期限・消費期限も大事でしょうが、食べられる時に、食べられる分、美味しく頂く事が食への感謝ではないでしょうか。▼人格向上の為に食を受けるのだという事をいまいちど考えてみては、いかがでしょうか。

らっかん



た。その価格が、なんと、煩惱の数と語呂合わせにした様で、「108万円」でした。どう思います。お買い得かもしれませんよ。



えーっ！

もしかして、これ・・・パトカー？いやいや・・・消防自動車？いやいや・・・まぎれもなく霊柩車なのです。中古車センターでもない、八戸の市民病院から光星高校通りの交差点の国道45号線四本松交差点の所にポツン置かれていまし

は・・・パトカー？いやいや・・・消防自動車？いやいや・・・まぎれもなく霊柩車なのです。中古車センターでもない、八戸の市民病院から光星高校通りの交差点の国道45号線四本松交差点の所にポツン置かれていまし

（編集後記）
猛暑続きの今年の夏ですが、雨が欲しいと云えば、やたらと降るし・・・やはり地球が怒っているのかな？
政治も、経済も、環境も、世の中何か変。じつと耐えるか、時間が解決してくれるのか。救世主が現れるか、えっご期待！
小坊